研究会記録

Family と Society

1960・5・24
於 人文分館

Vey
Ima 僕の考えは始めから nuclear family はなく extended f → nuclear family に変る。その nuclear family も不完全なもので まづ証拠に財産の相続がある。これ個人主義からいくと意味ない話だ。家をつぐという考え方。これはここからでている。family の definition を generation のかたまりが ～～ していること。三代までいく訳です。ホンマの手長ザルみたいに♂♀子供つくって、なんぼたくさんあっても social cooperation できぬ子供は離れてゆくからこれがそれでいちいち自滅する これが perpetuate すると子供がのこる要ある。♂がのこれば patrilineae ♀ matri この unit が永續せんならん。するとはじめてこの子供によえから配遇者をもってこんならん。いやでも cooperation incest は cooperation をするために必要になってくる。これが parsons white functionalist の考え方。ところが我々は先に incest があってそれから cooperation があるという これが結局 culture と云ったらわるいけど もっと social なものとなり individual なものこれ social これは social 故に incest は taboo としてはじめからある。そうでなく僕等は incest がでてくるのは individualistic なものだと考える。東君が都井岬で親子で incest を認めたというのは individualistic なものと思う。それから social になる。social の最后は taboo は institution 的なものとなる。
(gradual の発展のうち)

Vey その場合。incest の social taboo は cooperation を前提としているのですね。
Ima ここまできたらそうや。ここにくるまでに social connection がすでにできている。
Azu individualistic というものは具体的にいうと。
Ima 母親と子供との間で決まる。いかなる母もいかなる子にも incest をおこさぬ。とは云えぬ。この間に自然発生的に可能がこういう傾向をおびるとしまいにそっちへ向く。それで taboo にするからカゲを消すので中でも incest をおこしやすいものがこの間にある。
Vey その間に incest を妨げる要因がある程度あるにもかかわらずその抵抗をのり越えてやるやつがあるということですね。
Ima 猿の場合はそれが姿勢と関係あり、これの方が上位になる。これが subdominant になる。conditioning により子供が母親に敬意を表する限りできぬ。子供自身のうちに taboo として発生している。その意味で individualistic
Vey それが一種の上位の symbol としてなるにかなりの社会生活が前提されている訳でしょ。
Ima 勿論 family でもこの中のそれぞれの status、その status をそうしょっちゅう動かしてはならないという問題。これがボスは腕力でなく木に登れんようになっても最后まで尊敬され死んでいくとか、隠居ボスになって地位は下っても尊敬されている。ボスの力量がなくなったら solitary になるのもある。次第に social organization とに authority をいつもかえるのは不得策であるということから確立してくる。
Vey
Ima そのいまの問題から extended family → nuclear family へのつなぎは、extended family から nuclear family になるということは他の social な industrial revolution をおとしても。それ自身進化として extended f. → nuclear f. に進歩するものが進歩の形でなく。他の social change により family の adapt した形として nuclear f. がある。だから他の society が何故変化してゆくかということの方が primaly を変化 これが編成論に結びつく。fendalistic → nationalistic — 国編成、それにあわせた secondary というか external に対する internal organization の変化があり この2つが噛み合ってこないとわれわれの主題にマッチしない、今までは primary なものを決め、それに合わせて internal を説明しようとした。ところが external がかたまらんなら internal よりかためていってよいでないかというのや。この前からそういう意味でおした。
Vey これまで F の方の考えなかった。それで生態学の持ち味が出てくる。それでいくと家族史をせんならん。家族史で index をとっていく そして編成論の意味を考える。
Ima どちらからもトンネルでね。
Vey こっちの方が生き物として扱うのでね。
Ima こっちの方がよりぴったりしたものが政治形態など分りにくいんでね。
Vey そこからやったら personality が入る。ここに personality の問題がその下にあるより internal としてソヤシ。ここが中間や。ここから上は社会。ここのもひとつ下に個体というのがあり personality の問題がある。こうするとちゃんと完成する。われわれはここから上がこんどの班でこなしとらんといかん。ここだけはいかん。
Ima この間から持ち出しているのはそこのとこや。下からつきあげるのだったら梅棹みたいな家族論が生きる。
Vey そこまで梅棹が一貫してやっているのならおもしろいけどナ。
系統論と編成論の部分は。
Tan これまで重層でベタ塗りにしていた。
Vey しかし、同様のことが吞ッンのところでも云える。internal は国家のところでする。
Ima この間の話し合いで重層のあるところまでで編成論にわたす。
Vey この間の話では1900年、明中の分割ができたところ。
Ima もう少し前から近代化はおこっている。そこは谷君の系統論のところはそこにつなぐもので この問題はこっちに入ってからでないか。
Vey ちがいます。封建制の確立することから単婚小家族がでてくる。
Tan しかし結構。その上に共同体があります。
Ima extended family ははじめから成立するのでなく、二・三男は日本では独立、よそだったら家の中に入る。日本なんかたえず extended family の種子をまいている。一つ一つの extended family になる。
Iiz kinship terminology Nepal Tibet は非常に extended family 兄弟という云葉を乱用する。
Ima 西洋人よりみると extended family あったがその sense が西洋人にない程完全に nuclear 化したわけヤ。これがはじめから元 ~~から云え~~ だという錯覚におちいるのだナ。

Kyoto University

Tan　その場合、編成論のためにもっと下に家族を入れるのはおもしろい。nuclear family 大きい regional にちがう値のものを編成する上によい。

Ima　例えば二・三男が東京に出たときみな nuclear family として start する、都会と植民地。New Guinea にいけといったらヨウいかぬ。現代ならシベリアでもすぐいける。
編成論の言葉はそのままいといて、踏襲してこれもふくめることにしたらこっちの方の変化はむしろ系統論よりはずし、系統論は環境との問題を主にしてとりあげるでショ。

Vey　編成論でもはずせないんです。

Ima　そうしたら別の chapter を入れるか。

Vey　いよいよ疑問に思うのは系統論と編成論を区別するのはまずいと思う。国家は一つの編成論ですからこれは世界編成論という意味だったでしょ。ここでかりに1900年～～
しかし、もとは全 Europe の分割も編成論といえる。また家族を入れると二・三段階を経て展開する産業革命と農奴~~革命~~解放のときと。

Tan　もうひとつ問題にしてもらいたいのは Empire 時代の編成と今のソ連やアメリカの編成のちがいをはっきりしてもらいたい。

Vey　そこでね、どうも編成論というヤツは世界編成というのでなければ意味がない。系統論は編成論の立場からとりあつかった。

Tan　系統論なら dominent なもの、lead するものは何か、というのが一応問題になる。

Vey　編成論でも、そう古代 Empire でもそのどれが leading かということ問題。

Tan　分布論とのちがいは。

Vey　それは推移の力学が必要でない。枠をつくってやる要はない。

Ima　編成論の原理はこの間、上山サンが場の理論をもちだしたが、真中が high で吸引力大、dominemcy 大。こっちは弱い、しようもないヤツと釣り合う所ができて、そしてこっちから国境警備を配置せんならん。

Vey　編成論と重層社会の系統論とをわける理由がまだわからない。

Iiz　分類、分布について、川喜田サンと discass して、witfogel は Marx がむこうから一律にアジア的というのを2つに分け、こっちが humid そして arid とに分けた。arid の中でも oasis 型と steppe 型とにわけられないか。そうして線を分けて arid 型の中を steppe oasis に分けた。この辺のことをみっちりやらないか。あとは witfogel のを踏襲していかないか、ということはんだ。

Ima　僕は騎馬民族と云ったが shemetic なもので何でもよい。こっちにもう一つ、そういうものがあればここでどうしてもぶつかって、国境ができる。こういうものはさっきのあれでもう国境の警備を船に乗せてよそへもっていける。すると植民地を押えにいくのが本国からでていくということになる。そして1900年までにこういう力の余ったのが隅々まで波を及ぼしたこういう関係のせちからくなったのは1900年代からで前からある。この圏内にあったのは併呑されるか、せざるを得ない。その圏外シベリアあたりはほってあった訳だ。

Vey　このほってあったのがベタッとつながったのがロシアとアメリカ。これは新しいものをもってきた。

Tan　分類系統との違いは現在編成が重要になったのはただとったらエエということがなくなったからだ。これまでの編成のテクニックより変なものを持ち込まぬといかん。戦争になるからそのとき新しいテクニック考えだす要あり。

Ima　それでね日本は東海の孤島にあり生産して商品がよけいできる。それが波になってひろがる。そしてインドネシヤなどにかぶって一種の日本経済圏ができる。編成しなおしが起るここへドイツから物もってこうとすると非常に便利にならんと日本におさえられるということがおこっている。再編成となってでてきているわけや。
イギリスの問題などたちまちそこでとりあげられる。英本国がものすごく dominancy をもっているときは7つの海を control していた。それがもう果してできるかどうかあやしい。それで経済を~~おこす~~守る為にその軍備がいるか丸腰でいけるか。岸内閣みたい古いボウレイにとりつかれているというのでなくて、一理あるのかもしれん。

Vey　はなはだ疑問です。大編成論は国際政治学の問題。日本が何故東南アジアにくい込めんか、なぜいろいろ云われているか。生態学上の見通しは短い span ではでてこぬ。long

Ima　しかしすべてはここに集約され編成論にかかってくる。貿易の伸長の問題。そのうらづけとしての必要の増加。インドネシヤをたかめるのに全体国家と民主主義どちらが有効かという問題みな日本など国が余りに back してやらんから出先の商社のものはみなそこにかかる。外務省熱の入れ方が足らん。

Vey　日本がいまそれをやり得るかと云う問題。

Tan　アメリカやソ連の編成の新機軸はどこにあるのか。

Ima　原理みたいなものみなもっている訳だ。

Vey　実に factor 大きくて大変なわけだけれどキエンをあげてもらえませんや。

Ima　その全部の factor をにらみ合すのやったらここはみな政治家なんやな。

Iiz　シラフでやるとなかなかいい idea がでないのでないか。

Ima　別に国を奪うるの士でなくとも悠久なる昔から現在まで全部ちゃんと理論的にといてあるということがうれなんだら困るわけや。

Iiz　新しい資本論という訳だな。

Vey　ただしそのスケッチ。本当に話題は現代論ですね。猿の昔から始って。

Iiz　今西センセイが始めに云われた様に平和的共存の理論。

Vey　今西サンのいわれるのはかなり軍備すきやと思うけど日本は男性文化ですからね。しかし疑ってみる必要がある。軍備が必要でないかどうか。しかし情ないですよ(女子さ)アメリカの下請けで英語で指令でしょ。

Ima　本当に軍備をもってても、自分で勝手なことをやらない軍やないといかんな。関東軍は誰の命もうけずにやったけどソ連の軍隊はそういうことはないでしょ。

Vey　政治家優位でしょうね

Ima　政治家の優位確立のために独裁も必要やということもあるかもしらんしな。

Iiz　それと反対のことが民主党のアイクへの公開質問状にでている。アメリカの憲法では civilian 優先や

Kyoto University

こんどのU2事件はなんやと.

Vey あれは関東軍的。democracyの時分では政治家は残らん. ごきげんとるだけ世界を見とおす要ない. socialismの方は見識においてselectされる こっちは人扱いで金を握っているとかで何も知っていない。世界については。

Ima このどのアイクとフルシチョフとのやりとりでもフルシチョフのすか先手. 先手うつ. アイクも横綱世代といちいち相談せんならんということ。

Vey そうですね. アメリカ流センデンバラバラ. あれは個人よりも体制(勢)の問題ですね.

こんなとき なんでアイクの1与気嫌とらんならんのやろ. 悪いかもしれんけど この際ヌラリとつけこんで日本は九まくったらいいのに。

Vey それはアメリカのpresameやと思う. アメリカが岸にsuggestを与えた.

Tan 軍備が将来. 盲腸みたいにdeepするものか.

Waz 異性文化と軍備をいっしょにして考えても面用しているか.

Vey 好みがあり口の先での話合いなどきらいでしょう

Waz それこそ体質改善ということがおこらないか.

Ima personalityからいうと今の環境はセレブロをどんどん表の上でdominantにしていった. そのセレブロの比重に応じて戦争の危機はふえつつある. 昔にさかのぼるほどソトがう い。

Vey 一つは戦争自体がソト的なくなった. セレブロの方が大事. 適確判断したり情だしたり状況をよみとったり. 機械と機械の斗いだから。

Ima 昔の一騎うちの時代の方がソマト的ヤアヤア名乗りあげて

Vey 陸軍の方はソマト的. 日本人はソマト的でなくセレブロ的と思う.

Ima 森林から発生しているしな.

Iiz 牧民の方がおのこやぶりがある.

Ima 農耕民でも身体がよろいたら「ほがい」しかしキバ民族の様に血にうえているという性格は農には幸か不幸かせい. 血を流される方で。

Iiz 秘境マヒラヤのfirst sceneなどまさに牧民のものいおせ.

Ima あれは牧民的で農耕民的です

Vey 僕は人間集書を比べた日本の[illegible]とイタリヤ・イギリスにヒヒが冒険精神がないか知った. 両方比べて日本のは眼かくしで. 集団的に入っていく. 個人の機知が足りぬ. 酒一杯ひっかけて外国の方がネタネタといく。

Ima これから飛行機に乗るという時. 酒を呑んでベロベロになってみな墜落するという.

Vey イタリヤのは豚という. とりはづしきく爆薬. ハンドル, ここにプロペラ, のろく. 水中3ノット位。防弾網がある. ここから降り. 縄をかけてくりあげてしまう. そして船のところに爆薬をつけて. 時限信管をつけて帰っていく。日本のは性能よく. 大きい. 人が中に入ってしまう. ジャイロコンパスであわせる. これは創意工夫がいる。観測は親船が与えてくれる. 30海里で突き進む. 帰ってこない. やうがのなぐりこみて強。イギリスは小漫船に乗り. 夜. カヌーでこぐ.

Iiz イギリスは戦時中. 飛行機でボートで落としたのか. 大分あったそうだ. 金を与えており. スパイやったり. 爆破し. 幾日かに潜水艦が待っているというので帰ってくる。

Vey 一人一人が弱虫で集団になって強くなるのと. その反対とかある.

Ima 武士道というのも集団のcultureにしたから保っているのであってね.

Vey 主君の為にのみ. 死ぬというculture

Iiz それは職業感にもつながっている. 日本のはjob, occupationとかvocationalなもの

Vey. そうですね. 日本は学術. 郷土病. そこをかえないとだめ。問題はそう簡単にかえられるものか. だが。牧民狩猟民の方が武勇の精神にとんでいると思う。日本人はデリケートなセンチな国民だ. 潜水艦でセンチな歌をうたう。デリケートな国民がどうして好戦的になったのか. 追込まれたのだと思う。

Huz 僕はそんなことはないと思う. 追込まれたのは軍部だけど. 国民全体は追込まれたという実感がない. 大義名分を西洋より厳しく立てられ. 技術が洗練されていたと思う. それで大義名分に弱いといった方がよい。

Ima イギリスなど悪いことしている. そのとき良し悪しの判断があり. それを乗り越える. 日本でいえば忠か. 孝か. 時に忠ときに孝でも終始一貫している. 日本にそれが完全にない. 一方に決めんと済まん。忠onlyでいったり。situationでの判断のもとになるものがわからん。

Huz DとWの違い。Wは立て前型と云っていたが. それ程きついものとは思わなかった。「みんながやるから」よりもっとinner syatemとしてできcompulsiveなのである.

Vey そういう価値のsystemがあるから。

Huz 観念の上下の順位の関係ですね. 太平洋戦争は聖戦であるという考えを自慢させて了ったらそれで突き進む。

Vey 日本は経済的に追いつめられていた。

Huz 新聞ではぎゅっとおしつめられていると云う感じでなかったか.

Ima 川喜田は宗教を個と関係させた. 神も仏もあり乍らこの世には国をcontrolするものがない. 個はcontrolできても国と国の関係は牙に対して牙をもってするほかない.

混血さすか.

Ima 併しいくら混血させてもすぐ国をつくるかわからない.

純粋に色のつかぬかたちで押してきたのだから国家編成論も地球の上から新しき人間の将来を見てという態度でみんといかんな.

Huz 編成論を設ける気持ちになったのはここにあると思う。

Ima それをわれわれは神サンをもってくるtoynbeeよりも強い立場にある.

Vey blockだけれどもblockをつくる筈理ですけど。

Ima 人間の文献だ. むこうで混血し, 日本に帰らんでいいという人間かでてこんといかん。日本で大学出て会社に入って

Kyoto University

しまったら55才まで決ったコースをいく，中南米の散パツ屋から始めるというのは相当な冒険ヤロ。

Vey どんどん入っていく場合，国の力をなくして，丸腰で入らんといかん。失業政策のために国家がそれをドンドンやる必要ある。探検部など出先機関にして50年先の国を考えるとどうでも必要。今の日本はむりに東南アジアに進出しようとしている。アメリカから金貸りてやっているいまのはいかん。

Tan ソ連は革命后にシベリアに入っていく，その範例をみる必要がある。

Ima 日本が好きで離れられんというところがないかと思わぬか，生産もできんなら出るけど——という。

Vey それはあるかもしれません。

Ima 僕は日本にまさるところがあれば居ついてもいいと思っているけどないな。

Tan 親類など血へのつながりから出にくいというところはないか。

Ima 僕はそれはうすい，それより日本の自然に結びつけられている。

Tan 地縁的というのですか。

Ima 地縁的というのはもっと狭い，日本全体を地縁的ということで考える人はないのやないか。

Waz 出ていくというのはもっと日本が快適なら出ていくのやないか。中途半端だし，もうちょっとしんぼうしたらよくなるかもしらんというところがあって。

Ima ようなる，ようなるというのでつられていよるのや。

Huz それは面白いな。

Vey イギリスなどかなり優秀なヤツが出たんでしょ。それにはplan植民政策があり生命の捨てがいがあるというのでなければいかん。

Ima 世界をマタにかけて大きい商売し，あっちこっちにメカケもって，飛行機でいったりきたりしていたら快適やと思うな。

Tan それでオレのところの子供だけで国連ができるのやという話がある。併し世界をまたにかけて商売するヤツには日本人は，あれはウシログライものを持っている奴だという見方をする。

Vey それは外国の大学を出た人に対しても同じ。戦前までうだつがあがらない。外へ出るの和歌山県多い。

Ima 海外雄飛の夢は古くさいという風に考えられているな。大臣になりたいというのと同じ。今の人生の夢といったら実にくだらんのでっせ。

Vey 探検部ができンフィクションなどがよく売れるでしょう，あれをうまく育てたらいい。

Azu しかし，それは観光団的興味に似たものがある。

Ima Sweden社会保障完備して自殺が大きい，それだから和崎の云うように，まだある，まだあるというてひっぱっている方がいいな。風紀がビンランしているらしいな，姦通が多い。

Tan そういうのがあるpeakに達し，好戦的になるのでないか。

Vey それは終りやないかな。

Ima フランスは人がふえなかったのが近頃ふえだした。それはドゴールの出現と関係あるのやろか。それは第2次大戦以後，あまり自由になっていた時は自墮落になっていたのが——まひきしまったのでないか。

もうちょっと本題に戻って

Vey 軍事の問題と再編成の新しいprincipleの問題

Ima それから梅棹が家族論をどの程度やってくれるかやけど。

Kyoto University